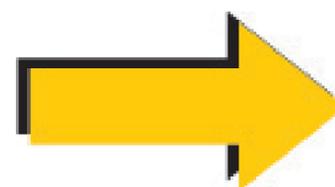


推進計画検討部会（ワークショップまとめ）

本市のボランティア活動の理想像

- ・ 公民館とボランティアセンターが連携できる
- ・ 活気にあふれたたくましい四国中央市
- ・ 人と人が共鳴する明るいまち
- ・ ボランティア団体間のネットワーク化ができる（密な関係）
- ・ ボランティアセンターの窓口がそれぞれの地区にある
- ・ 協働で安心できるまち
- ・ ボランティアコーディネーターが充実している
- ・ 防犯・災害ボランティアが充実している
- ・ 担い手が豊富（学生等）
- ・ ボランティアで支え合える社会
- ・ 市民と行政が良い関係を築ける
- ・ 身近な助け合いができる
- ・ 地縁組織との連携ができる
- ・ 公民館を拠点とした活動が活発



本市のボランティア活動の現状

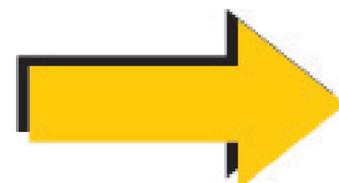
※市民意識調査の結果を含む

- ・ 各種ボランティアの内容の理解不足
- ・ ボランティアをしたことがない人が多い
- ・ 多くの人が関心を持っている
- ・ 清掃活動などの身近なボランティアが多い
- ・ 見守り（補導）などの分野が上がっている
- ・ ボランティアをしている人は年に数回が多い
- ・ 団体では月に1～2回が多い
- ・ きっかけは「地域活動を通じて」が多い
- ・ 良かったことは、「人の役に立てた喜び」が多い
- ・ 困っていることでは、「時間を取るのが難しい」が多い
- ・ 行っていない理由も「時間的な余裕がない」が多い
- ・ 次いで、「始めるきっかけがない」が多い
- ・ 人材不足や会員の高齢化が深刻
- ・ 財政的にも厳しい団体が多い
- ・ 情報が不足している

推進計画検討部会（ワークショップまとめ）

理想像を実現するための課題

- ・ ネットワークができていない
- ・ ボランティア活動の情報発信不足
- ・ 各種団体への PR 不足
- ・ 人材の育成ができていない
- ・ きっかけづくりができていない
- ・ ボランティアコーディネーターの育成が不十分
- ・ ボランティアセンターの情熱が感じられない
- ・ ボランティアコーディネーターと団体との関係が薄い
- ・ 関心はあるが、取り組めていない
- ・ 身近なボランティアが重要
- ・ 企業の理解が不十分
- ・ センターの整備が不十分
- ・ ボランティアの社会的評価



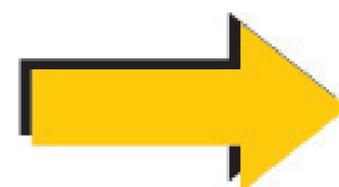
課題を解決するには

- ・ ボランティア市民活動センターの機能強化
- ・ 市民と行政の適切な関係づくり
- ・ ボランティア情報の提供
- ・ 公民館やスーパーに情報紙を置く（情報紙の充実）
- ・ 人が集う場での PR（各種イベント）
- ・ 情報交換の場づくり（ワークショップなどの手法）
- ・ ケーブルテレビの活用
- ・ 意識の啓発
- ・ 地域を牽引するリーダーの育成
- ・ 学生・若者のボランティア経験
- ・ ホームページの充実
- ・ 企業の参画
- ・ 人材の発掘
- ・ 人材育成・身近なボランティアの紹介
- ・ ポイント制度
- ・ 顕彰制度
- ・ 教育の場での機会の充実
- ・ コーディネーターの育成

ボランティア市民活動センター整備部会（ワークショップまとめ）

ボランティア市民活動センターの理想像

- ・ 誰でも利用でき、利用しやすい場所
- ・ 一つひとつの団体を把握している
- ・ SNS 等を活用し、ボランティアセンター利用者がフォロー
- ・ ハード面よりソフト面が充実
- ・ 誰もが知っているセンター
- ・ 人が寄るための駐車場確保ができています
- ・ 団体の代表者が集いボランティアセンターの方向性を決める（運営協議会的な役割）
- ・ 人が来る
- ・ 人と人をつなげる（ネットワークの拠点）
- ・ 団体間のフォローができる。
- ・ 民間のカウンターのようなイメージ
- ・ 交流がしやすい
- ・ 学生が集まる
- ・ 市民に愛される



ボランティア市民活動センターの現状

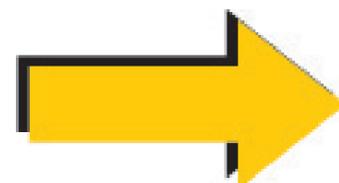
※市民意識調査の結果を含む

- ・ センターを知らない人が多い
- ・ 利用者が少ない
- ・ 一つひとつの団体が分かりにくい
- ・ 人と人がつながれていない
- ・ コーディネーターの力量不足
- ・ 市民の大部分が知らない
- ・ 利用者が少ない
- ・ 市民の約2割しか知らない
- ・ 今後利用したい人は多い
- ・ 登録団体でもセンターを利用していない
- ・ センターの利用は「印刷機・コピー機の利用」が多い
- ・ センターの備品の満足度は普通
- ・ センターの職員の対応は5割が良い
- ・ コーディネーターの充実を望んでいる

ボランティア市民活動センター整備部会（ワークショップまとめ）

理想像を実現するための課題

- ・ 備品の情報整理及び情報発信
- ・ 現状の把握ができていない
- ・ 人が集うミーティングルームの不足
- ・ 親睦が図れていない
- ・ センターの周知不足
- ・ 人が集まりやすい環境ではない
- ・ コーディネーターとしての経験不足
- ・ ボランティア情報の発信不足
- ・ 団体に関する認知不足（センターの団体に対する情報収集不足）
- ・ 施設が暗い
- ・ 施設がせまい



課題を解決するには

- ・ 職員のスキルアップ
- ・ 市との連携強化
- ・ 団体同士の交流を図る（コラボレーション）
- ・ ケーブルテレビの活用（コスモステレビ）
- ・ 情報紙の充実
- ・ 色々な人の意見を聞いて発信力を
- ・ ホームページの充実
- ・ 情報紙の充実
- ・ 人が集まれる場に設置
- ・ コーディネーターの育成
- ・ マッチングの強化
- ・ 相談業務の強化
- ・ ネットワークづくりのサポート
- ・ NPO 法人に対する相談の強化